

防災・減災 研究成果 公開シンポジウム

定員
100人

入場無料

～令和6年能登半島地震を受けて～

日時

令和6年

6月8日 土

12:30～15:10

場所

三重大学三翠ホール
小ホール

申し込み方法

≫ WEB フォーム

下記 URL または右の二次元バーコードから WEB フォームへ進み、必要事項をご記入の上、お申込みください。



<https://forms.gle/6Aij8HV6BxrgWtfj9>

締め切り 令和6年6月3日（月）

定員に達し次第、受付を終了いたします。ご了承ください。
受付終了の場合は、みえ防災・減災センター HP (<http://www.midimic.jp>)
でお知らせします。

共催：三重大学地域圏防災・減災研究センター
三重県・三重大学 みえ防災・減災センター
後援：東海圏減災研究コンソーシアム

防災・減災研究成果公開シンポジウム プログラム

11:30 開 場 / 受 付

12:30 開 会

12:40-14:25

第 1 部：令和 6 年能登半島地震 調査・研究報告

座長：三田 紀行 工学研究科 教授 / 地域圏防災・減災研究センター 研究部門長

三重県の支援の状況について

三重県防災対策部職員

能登半島地震の被害の特徴と今後の対策について ～建物の耐震性能と被害について～

工学研究科 教授

川口 淳

地域圏防災・減災研究センター センター長

DMAT(災害派遣医療チーム)の活動について

医学部附属病院 肝胆膵・移植外科副科長 災害対策推進・教育センター センター長 病院教授
地域圏防災・減災研究センター 災害医療部門長

岸和田 昌之

避難所運営について

地域イノベーション学研究科 准教授

水木 千春

地域圏防災・減災研究センター 副センター長 社会連携部門長

避難所における健康問題について

医学系研究科 教授

磯和 勅子

令和 6 年能登半島地震で発生した地盤災害

生物資源学研究科 准教授

沼本 晋也

14:25-14:35

休 憩

14:35-15:05

第 2 部：みえ防災塾さきもり応用コース 研究成果発表

座長：葛葉 泰久 生物資源学研究科 教授 / 地域圏防災・減災研究センター 教育部門長 / みえ防災塾 塾長

防災意識・教育啓発グループ

避難所における共助の在り方 ～要援助者から共助の一員へ～

宮堂 善文

企業防災・技術開発グループ

忍術を活用した「暗闇対処学習」の体験効果について

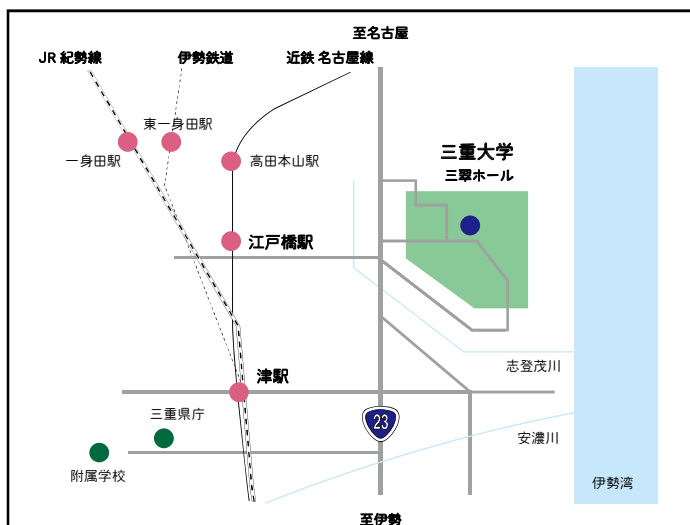
三橋 源一

15:10 閉 会

● 会場アクセス

※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

※事前申込のない方は、会場に入場することができません。



◆江戸橋駅から徒歩で約 15 分

◆津駅から

津駅東口バスのりば「4 番」から三重交通バスで、「白塚駅」、「三重病院」、「棕本」、「豊が丘」、「サイエンスシティ」、「東豊野」、「高田高校前」行きで、「大学病院前」下車。

活動紹介

場所：ホワイトエ

- ・みえ防災コーディネーター連絡会
- ・三重さきもり倶楽部

お問合せ先

三重県・三重大学
みえ防災・減災センター

(担当：森口)

〒514-8507

三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学

地域イノベーション研究開発拠点 A 棟 3 階

TEL:059-231-9952 FAX:059-231-9954

E-mail: center@dimomie-u.ac.jp

携帯電話：080-1595-4777 ※当日のみ通話可能